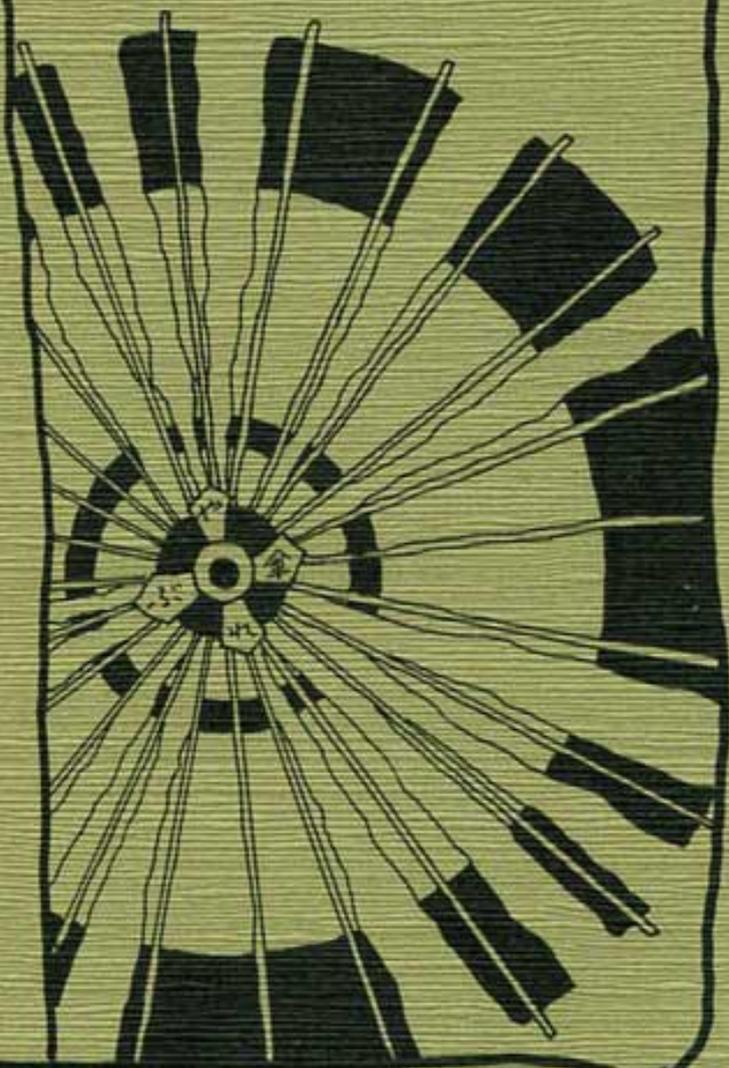


# やぶれ傘



五十号

二〇〇九年十月

雑魚獲りの鮎へ舟ゆく雲の峰	根橋宏次
こぼしたるものより融けるかき氷	きくちきみえ
工場より鉄打つひびきあをぶだう	大島英昭
炎昼の金鶏と眼を合はせけり	藤井美購
窓枠に傘を逆さに額の花	丑久保勲
雨雫落つる葉かげのいととんぼ	天野美登里
臍押すと喋る人形天花粉	瀬島酒望
頼杖にしばらく過ぐる秋の午後	安藤久美子
徳利に蚊帳吊草を活けにけり	廣瀬雅男
夏草をたたき雨来る川辺かな	白石正躬
秋雨の音の幽かな夜の紅茶	國保八江
おほかたはフェンスの外に荔枝生り	有賀昌子
日傾く頃の八つ橋川蜻蛉	渡邊孝彦
井戸端に束子の乾ぶ白桔梗	上林富子
葉の光とも山桑の花揺れて	菊地葉子

抄 集 句 選 夫 紀 崎 大 傘 ぶ れ や

あぢさゐに濡れて裏木戸出でにけり	久世孝雄
空昏むりんごの皮を剥きをれば	忽那みさ子
滴りの落ち行く瀟のあをさかな	齋藤朋子
橋渡るとき睡蓮のつと揺るる	篠崎善久
梅雨雲をにじませ月の出でにけり	鈴木昌子
水無月やくぢらの如き雲に月	高柳正幸
向きそろへつつと動ける日高かな	時田義勝
新涼や刷り上がりたる初句集	中村則夫
稽古してぼろんぼろんの暑さかな	松村光典
棄てられし炭焼きがまや夏蕨	松本善一
他人ごとと思ひし老に夕焼けす	秋葉貞子
海霧 <sup>じ</sup> 深し灯台の灯の息づきて	秋山信行
返事して影が近づく夏簾	石原健二
夏雲の下にトランク置きにけり	岡田香緒里
柔らかかきあをき毬栗拾ひけり	奥田温子

盆 荒 れ

大 崎 紀 夫

藻の花の揺れては離すひかりかな  
梅雨の川わたりきて櫓を休めけり  
海猫<sup>ごめ</sup>鳴けり港の倉庫暮るるころ  
紙<sup>し</sup>垂<sup>で</sup>揺るる下にちけり蟬しぐれ  
沖に湧く雲に西日ののこりけり

筋雲の下を綿雲今朝の秋

山の端の夜の白みゆくをどりかな

艇庫へとボートかつがれゆく残暑

朝寒の巴里にパン買ふ藤村忌

月白の土手をからすの越えにけり

盆荒れの風を砂丘のいただきに

炎昼の犀の真下に犀の影

天花粉

瀬島酒望

紫陽花や庫裡へ分かるる石畳  
梅雨茸に真白きもののありにけり  
臍押すと喋る人形天花粉  
暑き日や高架下なる駅事務所  
灼けてをり弁天島の剣豪碑  
提灯屋提灯下げる祭りかな  
ガガンボのあやふさ飛んでゐる時も  
居酒屋に回る昭和の扇風機  
干瓢を干すほどにある日差しかな  
本堂へ僧渡りけり夜の秋

秋の午後

安藤久美子

星祭眠りを誘ふ風のなか  
朝焼けや出窓の開く音のして  
半夏生水のにほひと日のにほひ  
寺町のをちここに猫合歡咲けり  
湯上りに桐生織買ふ夏の宿  
郭公を聞く飲泉の茹で玉子  
鐘の音は蓮華散華の池の面へ  
八月の鮮やぐいろに樹も屋根も  
花の絵を残暑見舞に描き添へて  
頬杖にしばらく過ぐる秋の午後

蚊帳吊草

廣瀬雅男

徳利に蚊帳吊草を活けにけり  
スニーカー履くおさなごの浴衣かな  
仲見世に風鈴を吊るまんどゆう屋  
バケツ手に胡瓜を挽ぎに出かけたり  
鶏の鳴く学校は夏休み  
夕暮れの荒川に虹立ちにけり  
絵葉書に一句添へたる夏見舞ひ  
乾きたる畦の轍や稲の花  
落人の里は茅葺萩揺れて  
釣り場へと狗尾草の穂を分けて

川 辺

白石正躬

明けやすの夜は三日月の川辺かな  
夏落ち葉踏みし跡ありたどりけり  
増水に渡しし休み雪加鳴く  
トマトもぐお下げ頭の陽にまみれ  
夏草をたたき雨来る川辺かな  
草むらに缶を蹴り込む炎暑かな  
たぶの木の下陰に秋立ちにけり  
おはぐろの止まれぬ風となりにけり  
空の青秋めく朝を谷川岳に  
秋風に触れて川辺を歩みけり

夜の紅茶

國保八江

夏椿落ちたる土の湿りかな  
葦の花天狗神社の裏庭に  
ゆつくりと雲の影ゆく青田かな  
庭隅の屋敷稲荷と墓  
近道の涼しき路地の暮れにけり  
施餓鬼会の散華ひとひら拾ひけり  
白木槿篠突く雨となりにけり  
二階より手の届きさう青みかん  
秋雨の音の幽かな夜の紅茶  
夕ぐれに少し間のある盧の花

荔枝

有賀昌子

湿原に雲重く垂れ花茨  
楊梅の落つるがままを手にしたる  
風吹いて蓮の水玉零しけり  
梅雨茸や踏み石に置く庭草履  
振花の五つ六つ咲くひとところ  
背泳ぎの斜めに曲がりゆきにけり  
五十雀逆さまに幹くだりけり  
湿原の出口いりぐち花茨  
蒲の穂や泥んこ遊び泥だらけ  
おほかたはフェンスの外に荔枝生り

川蜻蛉

渡邊孝彦

日傾く頃の八つ橋川蜻蛉  
雨降りの木てふ神木夏の山  
日覆ひを張る釣り船の碇綱  
せせらぎや朝草刈の後の土手  
曇り日の車庫の壁這ふ百足かな  
川底のテトラポッドや花萱草  
葛<sup>つらおり</sup>折つらおり急つらおりく登山帽沢近し  
にはか雨パン屋の鉢の千日草  
初萩は磴のかたへに観世音  
駅過ぐる貨物列車や秋夕立

部 架 ゆ 古 朝 青 は  
 活 線 さ 代 顔 葡 つ  
 終 下 ゆ 蓮 が 萄 穫  
 へ ホ さ く 間 ま り  
 に ー と る 口 び の  
 き ム 朝 く ふ い う  
 び レ の る ち て り  
 の ス 空 を ど よ 一  
 顔 去 気 ど る 老 の は  
 に り に る 柿 水 舗 風 ぶ  
 汗 草 柿 水 舗 風 ぶ  
 光 茂 青 の か の ぶ  
 る る 葉 玉 な 道 こ

神山市美

山 百 合 の 香 は 宿 の 戸 を 開 け し よ り  
 サ ン グ ラ ス 任 地 の 甥 を 思 ひ け り  
 仏 飯 を 撒 け ば 鳥 来 る 百 日 紅  
 花 木 槿 太 鼓 の 音 の 流 れ 来 る  
 ふ る さ と に 函 書 館 建 て り 稲 の 花  
 井 戸 端 に 東 子 の 乾 ぶ 白 桔 梗  
 挽 ぎ た て と 信 州 の 桃 も ら ひ け り

上林富子

## ◇11～12月の句会案内

月	日	時	句会名	会場	連絡先
11月	6日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	6日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	丑久保 勲
	9日(月)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	丑久保 勲
	10日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	10日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬 島 孟
	21日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤 井 美 晴
	25日(木)	PM6:00	三斗会	WEP俳句教室	丑久保勲・WEP
	28日(土)	AM10:00	楽天会	戸田市中央公民館	廣瀬雅男
	29日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室
12月	1日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	1日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬 島 孟
	4日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	4日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	丑久保 勲
	7日(月)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	丑久保 勲
	19日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤 井 美 晴
	20日(日)	AM10:00	吟行会(下記注)	上野動物園	丑久保 勲
	23日(水)	PM6:00	三斗会	WEP俳句教室	丑久保勲・WEP
	26日(土)	AM10:00	楽天会	戸田市中央公民館	廣瀬雅男
	27日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室

(注) 11月のこなから会とうらら会は第2火曜日の10日です。祝日のため。

ぎんなん会も第2月曜日の9日です。

12月20日(日)の吟行。集合は10時。JR京浜東北線・上野駅公園口改札口。

(東京文化会館の前です。) 吟行地：上野動物園。句会場：滝野川会館。

◎ 連絡先

瀬 島 孟	☎ 048-862-2757	藤 井 美 晴	☎ 0422-55-2733
大 島 英 昭	☎ 048-592-5041	WEP編集室	☎ 03-5368-1870
廣 瀬 雅 男	☎ 048-443-7522	浦和コミセン	☎ 048-887-6565
丑久保 勲	☎ 048-853-3856	WEP俳句教室	WEP編集室へ